

# 秋季火災予防運動が始まります！



「**忘れてない？ サイフにスマホに火の確認**」を統一防火標語として  
全国一斉に秋季火災予防運動が実施されます。

**1 期 間** 平成30年11月9日（金）から11月15日（木）までの  
7日間

**2 推進項目** ① **住宅防火対策の推進** ② **放火火災防止対策の推進**

## ① 住宅用火災警報器を備えましたか？



消防法の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅用火災警報器を備えていたことで、大切な命や財産を守ることができた事例が報告されていますので、未設置世帯では早急の設置をお願いします。

また、設置義務化から10年以上が経過したことから、電池切れによる警報音の鳴動を火災と勘違いしての119番通報も増えてきています。

一般のご家庭では、電池式の火災警報器が主流となっていますので、今一度確認を実施し、安心して暮らせる住宅防火を心がけて下さい。

- ◆ まずは火災かどうか、周囲の状況をよく見て、煙や臭気がなく安全であることを確認しましょう。
- ◆ 飯塚地区消防本部管内で発生した住宅用火災警報器の奏功事例については、飯塚地区消防本部のホームページ (<http://www.iizuka119.jp/>) で確認できます。

## ② 放火火災被害の軽減するために・・・

放火による火災は、全国的に毎年高い割合の出火原因となっています。放火火災被害を軽減するためには、放火されない環境づくりが重要となります。下記事項の対策により、一人ひとりが放火火災に対する注意を心がけるとともに、町内会等と住民が一体となって放火火災防止対策に取り組みましょう。

- ◆ 屋外に可燃物を放置しない。
- ◆ 自動車やバイク等のボディカバーは防災品を使用する。



- ◆ 消火器を設置する。
- ◆ センサー付き照明等の防犯設備を設置する。

## 『住宅防火 いのちを守る 7つのポイント』



－ 3つの習慣・4つの対策－

### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。